

栃木県農業大学校 令和5年度学校評価シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	関係者評価委員会からのコメント
		評価指標		学部・塾	内容				
3 進路指導の強化	<p>(現状) ○R4 農業生産学部の雇用を含めた就農率（研修後就農を含む）は33.3%と、低下傾向が継続している。 なお、進路決定率は90.0%であった。 ○研修修了生（専門研修コース）の農業従事率は91.1%であった。 ○生産学部卒業生の雇用を含めた就農率（研修後就農を含む）は各料・コースによって較差が大きく、全体的には低迷傾向にある。 ○全入学者に占める非農家出身の学生の割合は6割を超えている。 ○雇用就農を希望する学生も増加しているが、畜産部門では農業法人からの求人は多いが、その他は少なく、希望する部門と求人が必ずしもマッチしない。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大が学生の進路選択にも影響し、就職活動は活発化している。</p>	<p>進路 ・農業生産学部 農業生産学部 就農率計 60% 進路決定率 100% （就職率、農業 関連団体・企業就 職率） ・未来塾 専門研修修了生 農業従事率 80% 就農実現率 80% （就農を目指す 学生のうち就農 出来た者の割合）</p>	<p>(1)進路希望の把握と的確な進路指導</p>	生産学部 経営学部 未来塾	<p>○個別面談の充実</p>	<p>・1、2年生に対し個別面談を実施し、進路希望・個別の特性を早期に把握した。</p>	<p>・農業生産学部 農業経営学部 就農率40.8% 進路決定率 98.7% （就職率 55.3%、うち農業 関連団体・企業 就職率 73.3%） （3月19日現在）</p>	<p>・学生の希望・特性に応じた就農・就職活動を支援。 ・学生の選択肢が広がるよう、引き続き両研修会を実施する。 ・希望者に引き続き、支援を行っていく。</p>	<p>・就農率35.1%（委員会開催時点）は低いのか？ 例年と比べてどうか？ → 過去5年平均は34.8%で変わっていない。 ・即就農ありきではない、一度社会で勉強して、Uターンするのもあり。そうなるような仕掛けをどうするか。年を取ってから農業に戻る者も多い。将来的に就農することも良い。 ・英会話について、日常会話ができるようにならないか。 → 選択研修はある。校内でも指導できる人材を見つけたい。 ・その時々話題的なモノを教えられるとよい。 → 社会生活特別講座 ・未来塾は即就農、新規就農を想定した指導をしている。</p>
				<p>○4年制大学等への編入希望者に対する支援</p>	<p>・7月6日、1年生編入学希望者5名に対し説明会を実施。その後、継続希望者は3名となっている。</p>	<p>・7月2日、1年生を対象に就農促進研修会を実施。出身地の農業振興事務所職員との面談により、進路希望を明確化。希望に即した先進的経営体実習を計画し75名が実習。 ・7月7日、就農促進シンポジウムを開催、卒業生9名（就農4名、雇用就農5名）を講師とし、就農に関する意見交換を実施。（農業生産学部及び農業経営学部1年生76名）受入先からの評価は概ね良好。</p>			
			(2)就農イメージの早期確立		<p>○就農促進講座等の活用</p>		<p>・未来塾 専門研修修了生 農業従事率 92.0%</p>		

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	関係者評価委員会からのコメント
		評価指標		学部・塾	内容				
	<p>(課題)</p> <p>●農業大学の設置目的を踏まえ、就農への誘導等にしっかりと取り組み、就農率の向上を図る必要がある。</p> <p>●非農家出身者でも就農や農業関係団体への"就職に強い進学先"としての評価を高めるため、進路決定率100%を達成していく必要がある。</p> <p>●R5年度以降の就職活動についても、引き続き、新型コロナウイルス感染症による社会・経済への影響が懸念されることから、農業法人や企業等と連携を密にし、学生に対する支援を積極的に行う必要がある。</p> <p>●就職であっても将来的にUターン就農されるよう、意識付けを図っていくことが必要と考えられる。</p> <p>●就農する学生・塾生に対しては就農計画作成支援や農地確保など、農大内外での連携した支援が必要である。</p>		(3)雇用就農等斡旋機能の強化	生産学部	○農業法人等へのアプローチ	・求人あった法人を中心に希望する学生とのマッチングを実施。	就農実現率 75.6% (31/41名) (3月19現在)	・求人希望する法人に対して雇用就農理解促進研修会への参加を促す。	
					○求人情報等の充実	・雇用就農、就職等に係る求人票を集約、学生へ随時紹介するとともに、進路指導室への貼り出し。 ・企業等説明会の開催及び各種インターンの周知と斡旋。		・団体等と連携し、雇用就農受入を希望する法人等の把握と周知を行う。	
					○雇用就農・就職支援	・各学科ごとに随時、模擬面接や小論文の添削等を実施。	・引き続き、該当者に対し採用試験対策指導を行っていく。		
				生産学部 経営学部 未来塾	○農業振興事務所や関係機関との連携による就農支援 ・農振事務所担当との面談や就農支援会等によりオーダーメイド型の就農支援を行う。	・農振事務所新規就農担当者との面談やオンライン等による就農支援会によりオーダーメイド型の就農支援を実施した。	・引き続き、個人毎の要望に応じた就農支援を行う。		